



4

確認のドリル

坂本龍馬

さか もと りょう ま

月 日 時 分～ 時 分

名前

/50

1

下の写真と文は、坂本龍馬に関するものです。これを見て、あの問い合わせに答えましょう。

50点(各6,(2)(4)(6)各5)



龍馬がいつもとまっていた寺田屋

坂本龍馬は、はじめは外国を打ち払おうという考  
えであったが、勝海舟に会い開国が正しいと思う  
ようになつた。外国との交流がさかんになると考  
え、航海術などを学び、長崎で貿易会社の亀山社  
中を設立し、その後、薩長同盟の仲立ちをした。  
龍馬は、天皇中心の政権、議会をつくる、憲法を  
定めることなどを考えていた。(これは、船の上  
で考えられたので「船中八策」といわれている。)

(1) 坂本龍馬は、初め、どんな考えでしたか。 [ ]

(2) 坂本龍馬は、だれに会って、考えを変えましたか。 [ ]

(3) (2)の考えは、どんな考えですか。 [ ]

(4) 薩長同盟を結んだ藩を2つ書きなさい。 [ ] [ ]

(5) 薩長同盟が結ばれたあと、龍馬は「船中八策」で、自分の意見を述べていますが、  
その内容を3つ書きなさい。 [ ] [ ] [ ]

(6) 坂本龍馬が設立した亀山社中は、のちに何になりましたか。 [ ]

### i 知っ得情報館 「龍馬は、いつも先のことを考えていた」

あるとき、龍馬は友人の長い刀を見て、「長くて、いざという時に役に立たない。」と言って、自分の短刀を見せました。次に会ったときふところからピストルを出して、「これが新しい武器だ。」と言つて、友人をおどろかせました。三度目に会ったとき「これから世の中は学問が大切だ。」と言つて、ふところから国際法の本を出して見せました。龍馬はこのように、いつも先のことを考えて行動していました。



新婚旅行。1866年、西郷隆盛のすすめで、湯治をかねて妻のおりょうと霧島の温泉などを楽しんだらしい。

新興出版社啓林館 &amp; ちびむすドリル Special コラボ

Special



ドリルの王様

or 教科書ぴったりテスト

検索

ドリルの王様  
公式サイトは  
こちら予習・復習に便利な  
教科書ぴったりテスト  
公式サイトはこちら

ドリルの王様

楽しく取り組めるから長続きする！

各種検定試験、また2020年度からの新学習指導要領にも対応！